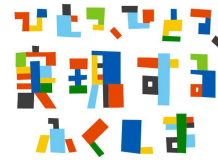


主要な農作物の生育情報

令和5年度 第4号

(令和5年7月10日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水 稲（農業総合センターの作柄解析試験における7月4日現在の生育概況）

全ての調査場所で3品種（コシヒカリ、ひとめぼれ、天のつぶ）ともに、草丈が平年より長く、茎数が平年並からやや多く、主稈葉数が平年より0.1～0.4枚多く、葉色が平年並です。

表1 水稻の生育状況

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	7月4日調査			
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉数 (枚)	葉色 (SPAD502値)
本 部	コシヒカリ	5.15	57.1 (105%)	645 (98%)	10.0 (+0.1)	36.7 (-0.8)
	ひとめぼれ	5.15	55.9 (109%)	669 (103%)	10.1 (+0.2)	38.2 (-1.3)
	天のつぶ	5.15	56.3 (106%)	635 (111%)	9.6 (+0.1)	40.4 (+0.2)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.18	67.7 (117%)	750 (109%)	10.5 (+0.1)	40.2 (+1.4)
	ひとめぼれ	5.18	61.6 (107%)	733 (102%)	10.7 (+0.2)	41.8 (-0.2)
	天のつぶ	5.18	64.8 (111%)	672 (106%)	10.2 (+0.3)	44.3 (+1.1)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5.10	65.3 (105%)	745 (102%)	10.3 (+0.2)	36.1 (-0.6)
	ひとめぼれ	5.10	66.6 (108%)	807 (102%)	10.5 (+0.4)	39.9 (+0.2)
	天のつぶ	5.10	64.0 (105%)	691 (101%)	9.8 (+0.2)	42.2 (+0.4)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市。

注2) 括弧内の数字は、前5年平均(2018～2022年の平均値)との比較を表し、草丈、茎数は前5年平均に対する比率、主稈葉数、葉色は、前5年平均との差を表す。

2 大 豆（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

標播の出芽は概ね良好です。

表2 大豆の生育状況

調査場所	品 種	播種 時期	播種期 (月.日)	出芽期 (月.日)	出芽日数 (日)
本 部	タチナガハ	標播	6. 1 (+1)	6. 8 (-5)	7 (-6)
	里のほほえみ		6. 1 (+1)	6. 8 (-4)	7 (-5)
会津地域 研 究 所	あやこがね	標播	6. 1 (0)	6. 9 (-2)	8 (-2)
浜 地 域 研 究 所	タチナガハ	標播	6. 6 (-5)	6.13 (-6)	7 (-1)
	里のほほえみ		6. 6 (-5)	6.13 (-4)	7 (+1)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市。

注2) 括弧内の数字は、前5年平均(2018～2022年の平均値)との差を表す。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

県北地方の4月下旬定植の雨よけ栽培は5月中旬から収穫が始まり、現在、1次側枝下段収穫中となっています。県北・県中地方の5月下旬定植の露地栽培は6月下旬から収穫が始まっています。梅雨の晴れ間の高温により、葉焼けや芯やけ、ホモプシス根腐病やネコブセンチュウ類によるしおれ症状が一部のほ場で見られています。害虫については、アザミウマ類の発生が多い傾向にあります。また、アブラムシ類やハダニ類の発生が見られています。

2 夏秋トマト

県南地方の4月定植の作型では、6月上旬から収穫が始まっており、南会津地方の5月下旬定植の作型では、7月中旬から収穫開始を見込んでいます。高温で経過していることから、平年より1週間程度生育が進んでいます。梅雨の晴れ間の高温により、しおれや葉焼けが発生するほ場もありますが、順調に生育しています。灰色かび病やアザミウマ類、ハモグリバエ類、コナジラミ類、タバコガ類等の発生が見られています。

3 さやいんげん

県中地方、会津地方の露地栽培では、順調に生育しており、6月下旬から収穫が始まっています。アザミウマ類、アブラムシ類やハダニ類、つる枯病が散見されています。

4 夏秋ピーマン

県中地方のトンネル栽培では、6月中旬から収穫が始まっています。病害虫については、一部のほ場でアブラムシ類の発生が確認されています。

【果樹】（農業総合センター果樹研究所における7月5日現在の生育概況）

1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が56.0mm（平年比115%）、側径が58.2mm（平年比123%）、「ゆうぞら」は縦径が52.5mm（平年比110%）、側径が48.4mm（平年比116%）と両品種とも平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、「あかつき」は平年並、「ゆうぞら」は平年よりやや大きくなっています。

平均気温に基づくDVRモデルによる「あかつき」の発育予測では、今後の気温が平年並に推移した場合、本年の収穫開始日は7月24日ごろ、収穫盛期日は7月28日ごろで平年より7～8日早い見込みです。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が41.3mm（平年比122%）、横径が47.9mm（平年比119%）、「豊水」は縦径が44.6mm（平年比127%）、横径が47.6mm（平年比125%）と両品種とも平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、両品種ともに平年より大きくなっています。

平均気温と降水量に基づくDVRモデルによる「幸水」の発育予測では、裂果期は近日中の見込みです。また、収穫盛期日の予測は8月17日ごろで平年より12日早い見込みです。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が59.3mm（平年比116%）、横径が64.3mm（平年比112%）、「ふじ」は縦径が55.4mm（平年比122%）、横径が58.1mm（平年比121%）と両品種とも平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、「つがる」は平年より小さく、「ふじ」は平年並となっています。

【花き】

1 コギク

8月咲きは、草丈が概ね平年並から高くなっています。また、一部地域では6月下旬に発蕾が確認されています。いずれも順調に生育しています。

9月咲きは、草丈が平年もしくは前年に比べて高い傾向にあり、生育は概ね順調に進んでいます。作業は土寄せまで概ね完了しています。

病害虫は、白さび病とアブラムシ類などの発生は継続しており、アザミウマ類やタバコガ類の発生も見られています。

2 リンドウ

生育は、早生種、中晩生種ともに、草丈は平年並から高く、高い地域では平年の2割から3割程度伸長しています。いずれも順調に生育しています。なお、側芽発生期は、平年並からやや早まっています。

病害虫は、葉枯病とリンドウホソハマキ、ハダニ類、アザミウマ類の発生が続いています。一部地域では褐斑病や黒斑病の発生も見られています。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、1番草の収穫作業が終了し、収量は例年並です。2番草は、再生期にあり、順調に生育しています。

2 飼料用トウモロコシ

飼料用トウモロコシは、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gi-jyutu03.html#seiiku-jyuhou>